

## 66 無駄なものは描かない画家・カラヴァッジョ

### 視点分散抑止効果

2024

真鍋友範

#### 1 よい画家の条件とは、

ルネサンス・バロック時代の画家なら、良い画家であるためには、いくつかの条件があげられるだろう。

かつて、レオナルド・ダ・ヴィンチは、優れた画家の条件として、身体動作の描写により、人物の内面を描くことのできる画家であると記述している。

つまり、この時代の画家にとって、【身体動作の正確な描写】とは、その精神性を表現する重要な手段であったのだ。

つまりデッサン技術とは、この身体動作の正確な描写にとって、欠くべからざる技術であって、【この時代の画家の必須技術】であった訳だ。

ルネサンス期の画家なら、工房においては、絵具の調合や、聖書の勉強、デッサン技術の向上、など師匠から多くを学んだ筈だ。

#### 2 あえて描かない

あえて描かない—これはポスターの技術としては常識である技術だ。簡略化し、要点の明快な構図はポスターの重要要素だ。この簡略化を絵画に当てはめると、それは【余計なものに視線を分散させない抑止効果】があるのだ。

#### 3 カラヴァッジョの絵画に当てはめると、理解を得やすい。

この【意味のない余計なものを描かない】ことには、絵画表現上重要な効果があることは述べた通りだ。

すぐれた絵画には、この定義があてはまる作品も多い。

では、具体的にカラヴァッジョ作品を振り返りながら、この【視点分散抑止効果】について確認したい。



《ラザロの復活》カラヴァッジョ1609      《聖母の死》1602      カラヴァッジョ

\* 作品の保存状況は《聖母の死》が良い。

\* では、2点中でどれが作品の出来として、より良い作品だろうか。

【視点分散抑止効果】の観点から見ると、より良いのは、《ラザロの復活》だ。

なぜなら、背景に視線が奪われないからだ。目前で段階を追って進行する聖書の物語に集中することができる。

この点において、逃亡生活中に描かれた《ラザロの復活》は、背景に余計なものが強調されていないので、展開するストーリーに集中することができるのだ。

一方、《聖母の死》では、聖母の衣服の赤に対して、上部に赤い天幕が描かれている為に、【視線の集中が邪魔される】のだ。

《ラザロの復活》は、カラヴァッジョがシチリア島で逃亡生活を送っていたときに依頼され描かれている。つまり、背景に無駄なものは描かないカラヴァッジョの描画意図が、外部からの横槍なく、純粹に生かされている。

背景にほとんど何も描いていないとはいえ、単純な手抜き表現ではない。空間の中に明暗のグラデーションが存在していることで、外部からの淡い光線を表現しているのだ。

それに対し、《聖母の死》は、簡潔な背景を描くカラヴァッジョらしくない、装飾過剰な背後空間の描写だ。私見であるが、聖堂側からの背景への追加描写の横槍があったと考えられるのだ。

しかし、聖堂側からは、別の理由で受領拒否にあっている。

聖書の物語を極めて写實的に描いた点において、カラヴァッジョは先進的な描写でありすぎたのであろう。当時の人たちは、もっと宗教的で美しい聖母の死を描いてもらいたかったのに、カラヴァッジョの描写は、写實的すぎたのだ

しかし、カラヴァッジョの写實的な表現による緊張感あるテーマに対し、この赤い天幕の表現は、その視覚効果を妨げる結果を招いている。

カラヴァッジョの写實的表現力の魅力があるものの、背景に赤い天幕を描き、聖母の赤い衣服の印象を妨げ、視線の集中を妨げるマイナス要素がある作品だ。

素人受けするのは、過度に装飾的な《聖母の死》の方だが、この事実に気付かない判断は多く存在する。

恐らくだが、ローマ・カトリック教会からの素人判断の横槍が強くて、赤い天幕による背景表現を加筆せざるを得なかったと類推できる。

《聖母の死》は、カラヴァッジョらしくない、過剰装飾背景のある少々残念な作品ではある。

カラヴァッジョ絵画の特徴として、【画面上部の空間への独特な扱い】がある。

カラヴァッジョはベネチア派の強い影響を受け、意図的に上部空間を必要最小限の表現は残しながらも、空虚に描き、具体的な事物の描写を避ける傾向がある。

その最たる例が、《聖マタイの召命》だ。

この効果が最も生かされていたのは、カラヴァッジョのデヴェュー作《聖マタイの召命》だろう。



\* 画面上部には、高窓からの光に紛れて差し込む、一条の父なる神からの啓示の光（眼鏡の男の額の点光）と、イエスの存在を暗示する窓枠の十字枠しか描かれていない。

\* 無駄なものは描かない。しかし、重要な要素はしっかり描く。カラヴァッジョの画家としての才能を知る核心をついた天才的表現力だ。残念だが美術史家ベッローリは、この深い表現意図が全て読めなかった。